

ネイティブ **Crotalus adamanteus** ヘビ毒 ピロリン酸加水分解酵素、ヌクレオチド

Cat. No. NATE-0493

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、ヌクレオチド二リン酸加水分解酵素 (EC 3.6.1.9) は、化学反応を触媒する酵素です: $\text{二ヌクレオチド} + \text{H}_2\text{O} \leftrightarrow 2 \text{モノヌクレオチド}$ 。この酵素の二つの基質は二ヌクレオチドと H_2O であり、生成物はモノヌクレオチドです。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にリンを含む無水物の酸無水物に作用するものです。この酵素は5つの代謝経路に関与しています: プリン代謝、デンプンおよびショ糖代謝、リボフラビン代謝、ニコチン酸およびニコチンアミド代謝、パントテン酸およびコエンザイムA合成。

別名 ヌクレオチド二リン酸加水分解酵素; EC 3.6.1.9; ヌクレオチドピロリン酸加水分解酵素; ヌクレオチド糖ピロリン酸加水分解酵素; 9032-64-8

製品情報

由来 クロタルス・アダマンテウスの毒

形態 約35%のトリスバッファー塩を含む凍結乾燥粉末。

EC番号 EC 3.6.1.9

CAS登録番号 9032-64-8

活性 4-8 ユニット / mg タンパク質、約25ユニットのバイアル

単位定義 1ユニットは、Mgイオンの存在下で、pH 7.4、37°Cで1分あたり1.0μモルのβ-NADをNMNとAMPに加水分解します。

使用法とパッケージング

包装 約25ユニットのバイアル

保管・発送情報

保存方法 -20°C